

来週の「売り物」記事はこれ



2015年12月4日号

毎日新聞東京本社 編集局・販促宣伝部

四日市公害訴訟 40年 封印し続けた「ありがとう」 6日(日)



「青空が四日市に戻った時に『ありがとう』と言いたい」。1972年7月、三重・四日市公害訴訟で全面勝訴し、あえて感謝の言葉を封印した原告の野田之一さん(83)と、写真や文集で公害を告発し原告団を支えた沢井余志郎さん(87)。2人は「語り部」として被害の実態と教訓を伝え続けてきました。四大公害病の水俣病、新潟水俣病、イタイイタイ病が発生した自治体では、公害の記録と教訓を後世に残す公立資料館を造っていますが、四日市市だけは違いました。被告企業がもたらす法人税や雇用の恩恵。さらに企業を出身母体とする市長や議員の影響もあり、公害を「負の遺産」として直視するより、克服したものとするスタンスを取りました。判決から40年以上の歳月が流れ、ようやく資料館がオープンしたのは今年3月。大気汚染が改善され、四日市に青空が戻ってもなお、野田さんは素直に「ありがとう」とは言えませんでした。公害発生からは半世紀あまり、2人の歩んだ足跡をたどりました。

日曜朝は『S』で始まる——。ストーリーにご期待下さい。

一足早いかもしれませんが……

来年は「さる年」。どんな年になる？

夕刊2面特集ワイド 8日(火)



2016年は「さる年」。えとでいうと、1956年に次いで戦後2回目の丙申(ひのえさる)の年となります。専門家によると、丙申は「革命」の年で、時代が大きくうねる年だそうです。前回の56年は、経済白書が「もはや戦後ではない」とした年で、確かに戦後の大きな節目でした。だとすると、来年も何かの大きな節目が来るのでしょうか。56年生まれで、さる年の80年に初の小説「なんとなく、クリスタル」を出すなど、さる年となぜか縁の深い田中康夫さんらとともに探ります。

「西原理恵子のおかん飯 with 枝元なほみ」 おんなのしんぶん 7日(月)

今回の「おかん飯」は、連載2周年を記念した特別企画です。ゲストに米ニューヨーク在住のシンガー・ソングライター、矢野颯子さんをお迎えしました。

西原さんも枝元さんもファンだという矢野さん。「おかん飯」の愛読者で、自身が使っているツイッターでも料理の感想を投稿されており、それが今回の企画のきっかけともなりました。初対面ながら三人は大変和やかな雰囲気、会話も弾みました。

今週はごちそうの「ミートローフ」を食べながら、過去のレシピや矢野さんの歌と食べ物にまつわるエピソードなどお話しています。2週連続の企画です。次週の13日(日)もお楽しみに！



連載「母と乳」第2部 くらしナビ面9日(水)から計3回



「母乳信仰」とも呼ばれる、母乳育児の推進の風潮に苦しむ母親たちを追った第1部。220通を超える反響から、母乳育児は母親だけではなく家族をも巻き込み、その後の暮らしにも影を落とすことが分かりました。第2部では、母乳育児が家庭づくりに及ぼす影響や、社会生活における壁に戸惑い、悩み続ける母親、父親たちの姿を紹介します。

医者にかかる時のポイント

くらしナビ面 12日(土)

間もなく冬本番が到来し、寒さから体調を崩しやすくなります。病院に駆け込んだ際、医師の診察を受けている時間は、病気になってから治るまでの全体の経過でみると、わずかな時間でしかありません。診察を受ける際に医師に何を伝え、別の病院にかかっていた場合には、どんな資料を提示すればよいか。医師に尋ねてみたらよい質問や疑問などを識者2人に尋ねました。



語り伝えるのは義務

朝刊文化面 12日(土)



「創作の原点 戦後70年」は劇団民芸の代表で、東京・三越劇場で舞台「根岸庵律女」に出演中の奈良岡朋子さん(86)＝写真。東京大空襲など自らの戦争体験については長らく口を閉ざしてきたが、戦争を知らない世代が大半になるなか、「体験を語り伝えるのは生き残ったものの義務」と語る。「ささやかなライフワークにしたい」と2013年に始めた「黒い雨」(井伏鱒二作)の朗読公演にも力を入れる。

高齢ドライバー 事故急増

私たち社会はどう向き合う？

オピニオン面 [論点] 11日(金)

交通弱者と呼ばれてきた高齢者。シルバー社会の進展に伴い、高齢者が運転する車による重大事故が目立っています。そうした事情を背景に、高齢ドライバーに向けられる社会の視線は厳しくなろうとしています。しかし過疎地在住のお年寄りにとって車は生活必需品になっており、免許を返納させれば済む話ではありません。医師の鎌田實さんら専門家の話に耳を傾けました。



時代が見える——。オピニオン面にご期待ください。

小学生新聞

小学生新聞 来週の
“売り物”、記事はこれ！



7日(月)は外信部記者がシリアの爆撃で壊された町の様子を現地からレポートします。8日(火)からは、じわじわと広がる子ども哲学の現場を紹介します。8日は佐賀の保育園での取り組み、9日(水)は埼玉県私立中高一貫校での哲学対話の授業、11日(金)はNHKEテレの番組「Q」を取り上げます。10日(木)はノーベル賞授賞式に合わせ、図解でノーベル賞の歴史をたどります。12日(土)は編集長コラムを予定しています。